

平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

たな卸資産評価損の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 3 四半期においてたな卸資産評価損を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の計上について

太陽光発電施設建設事業では、南九州エリアに施設建設を行うための権利を保有し、資産に計上しておりましたが、本エリアでは、電力会社への系統連系（発電施設を電力会社に接続すること）を申請する発電事業者が殺到し、電力会社の送電設備の容量を大幅に上回る事態となったため、電力会社による実施事業者の特定作業が何段階にもわたり期間を要すると同時に、電力会社の送電設備増強のために事業者側負担金に対して想定以上の金額が付加されることとなりました。

一方で、太陽光発電設備の性能向上・低価格化に伴い施設建設費等の低減による収益性維持の可能性や、事業者淘汰による事業機会の増加等によって、売電価格が低下している中であっても、当社グループが保有する売電の権利等に対する引き合いがあり、権利売却に向けた交渉を行ってまいりました。

その結果、今後の権利売却が見込まれる 3 案件を除き断念することとし、平成 30 年 3 月期第 3 四半期において、それらのたな卸資産（仕掛販売用太陽光設備）の帳簿価額 87 百万円を評価減し、当該評価損を売上原価に計上いたしました。

2. 業績に与える影響

本件につきましては、本日公表の「平成 30 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上